

新たな基本構想策定に当たっての WEBアンケート調査報告書

令和6(2024)年3月

行田市

目次

I アンケート調査の概要

- 1. 調査の目的 3
- 2. 調査方法 3
 - (1) 調査対象者、(2) 調査期間、(3) 調査の実施方法、(4) 回答数
- 3. 注意点 3

II アンケート調査の結果

- 1. 回答者の属性（選択式） 4-6
 - (1) 年齢、(2) 性別、(3) 居住地区
- 2. 行田市の生活環境や施策などの満足度（選択式） 7-23
 - (1) 身近な生活道路の整備、(2) バイパスなど幹線道路の整備、(3) 市内循環バスなど公共交通の利便性
 - (4) 市内の仕事や働く場(雇用)、(5) ごみ収集やごみ処理、(6) 自然環境、(7) 公園や遊び場
 - (8) 避難所などの災害対策、(9) 日用品などの買い物利便性、(10) 小中学校などの教育施設
 - (11) 小中学校での教育内容や取組み、(12) スポーツ施設や文化・芸術などの発表の場
 - (13) 医療機関や医療体制、(14) 子育てに対する支援、(15) 保育所や幼稚園などの児童福祉
 - (16) 高齢者に対する福祉、(17) 障がい者に対する福祉
- 3. 行田市の目指すべき将来像（選択式） 24
- 4. その他まちづくりに関する自由意見（記述式） 25-37
 - (1) 健康福祉、(2) 子育て、(3) 教育、(4) スポーツ・歴史・文化、(5) 安全安心、(6) 住環境
 - (7) 道路交通、(8) 産業、(9) 観光、(10) 地域コミュニティ・行財政運営、(11) 市政全般

I アンケート調査の概要

1. 調査の目的

市ではこの度、行田の将来像を描き、その実現に向けた施策の方向性や、重点的に取り組む事業を示す「基本構想」の策定を予定しています。この構想の策定に当たって、課題の把握や目指す将来像設定の参考に資することを目的として実施しました。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

行田市内在住の方

(2) 調査期間

令和6年1月4日（木曜日）から1月21日（日曜日）までの計18日間

(3) 調査の実施方法

WEBアンケート方式（行田市電子申請・届出サービスによる回答）

※ 電子申請・届出サービスによる回答が困難な場合、紙媒体による回答も可

(4) 回答数

557件(すべてWEBアンケートによる回答)

3. 注意点

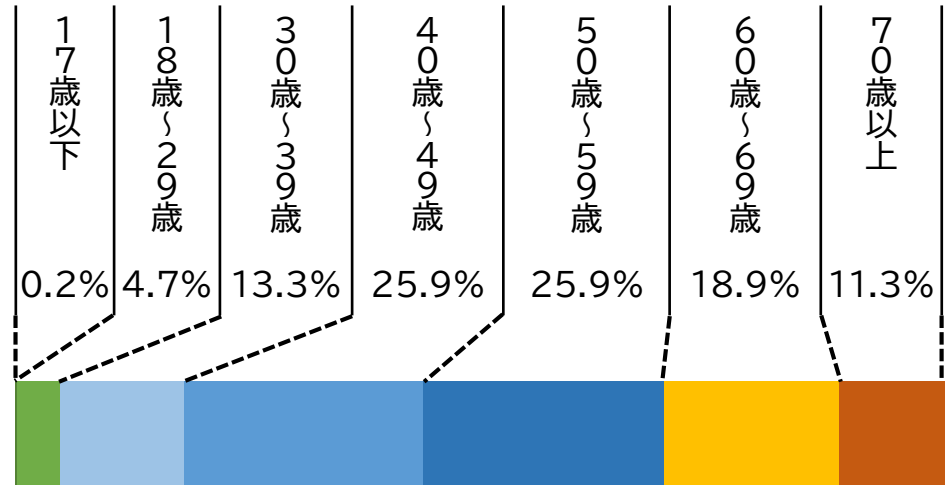
- 各設問の母数(調査の元になる数)は、(n=)で表記しています。
- 構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ず100とならない場合があります。

Ⅱ アンケート調査の結果

1. 回答者の属性（選択式）

(1) 年齢 [回答必須] (n=557)

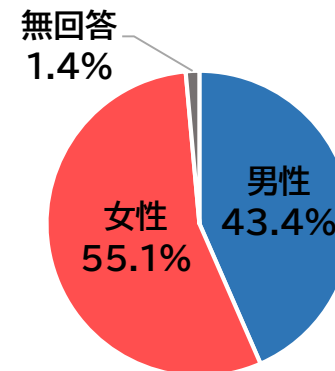
	回答数	構成比
17歳以下	1	0.2%
18歳～29歳	26	4.7%
30歳～39歳	74	13.3%
40歳～49歳	144	25.9%
50歳～59歳	144	25.9%
60歳～69歳	105	18.9%
70歳以上	63	11.3%



(2) 性別 [回答任意]

(n=557)

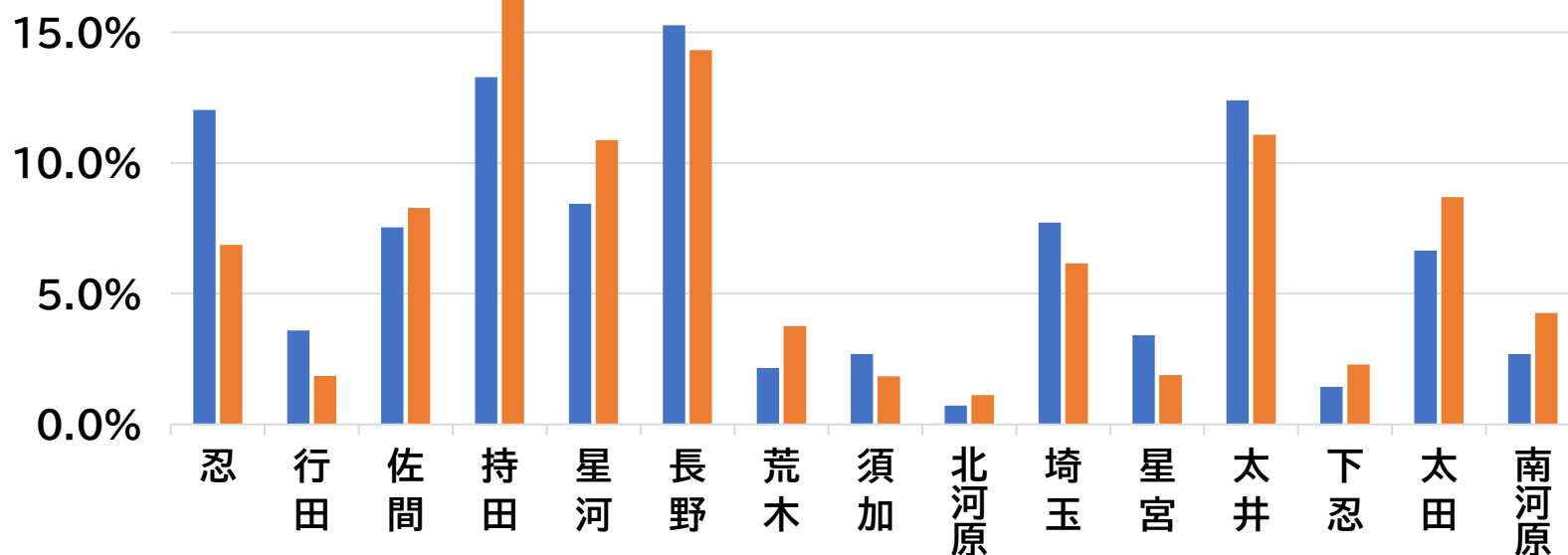
	回答数	構成比
男性	242	43.4%
女性	307	55.1%
無回答	8	1.4%



(3)-1 居住地区 [回答必須]

アンケート回答者の構成比について、“長野地区”が最も高い水準となっています。実質人口の構成比との比較では、“忍地区”に居住している方からの回答率が比較的高い状況となっています。全体的に大きな乖離がなく、アンケート回答者の構成比は、実質人口の構成比とほぼ同一となっています。

■ アンケート回答者の構成比 ■ 実質人口の構成比



アンケート回答者の構成比(A)	12.0	3.6	7.5	13.3	8.4	15.3	2.2	2.7	0.7	7.7	3.4	12.4	1.4	6.6	2.7
実質人口の構成比(B)※	6.9	1.9	8.3	16.7	10.9	14.3	3.8	1.8	1.1	6.2	1.9	11.1	2.3	8.7	4.3
乖離(A-B)	5.2	1.7	▲0.7	▲3.4	▲2.4	0.9	▲1.6	0.9	▲0.4	1.6	1.5	1.3	▲0.8	▲2.0	▲1.6

※令和6年1月1日現在一住民基本台帳の地区別人口構成比

(3)-2 居住地区 [回答必須]

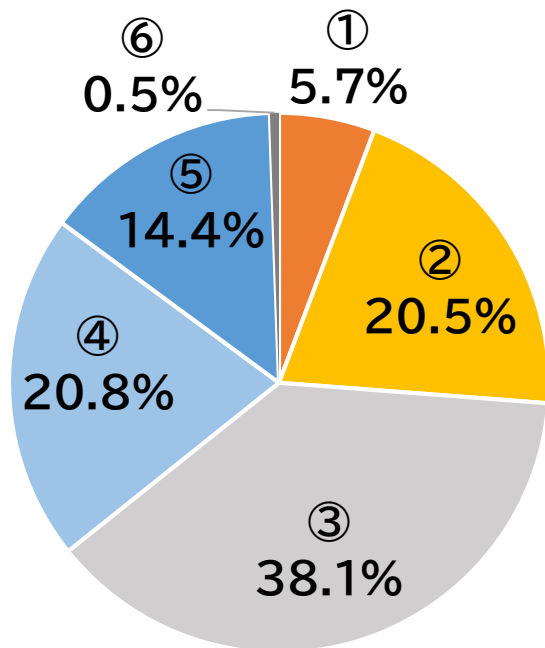
地区名	アンケート回答者の構成比 (n=557)		実質人口の構成比 [※] (n=78,416)	
	回答数	構成比	人口	構成比
忍	67	12.0%	5,389	6.9%
行田	20	3.6%	1,453	1.9%
佐間	42	7.5%	6,488	8.3%
持田	74	13.3%	13,111	16.7%
星河	47	8.4%	8,529	10.9%
長野	85	15.3%	11,228	14.3%
荒木	12	2.2%	2,955	3.8%
須加	15	2.7%	1,441	1.8%
北河原	4	0.7%	880	1.1%
埼玉	43	7.7%	4,833	6.2%
星宮	19	3.4%	1,478	1.9%
太井	69	12.4%	8,686	11.1%
下忍	8	1.4%	1,792	2.3%
太田	37	6.6%	6,814	8.7%
南河原	15	2.7%	3,339	4.3%

※令和6年1月1日現在－住民基本台帳の地区別人口構成比

2. 行田市の生活環境や施策などの満足度（選択式）[回答必須]

市の生活環境や施策など計17項目について、“①満足” “②どちらかといえば満足” “③普通” “④どちらかといえば不満” “⑤不満” “⑥分からない” の中から1つだけ選んでいただきました。

(1) 身近な生活道路の整備

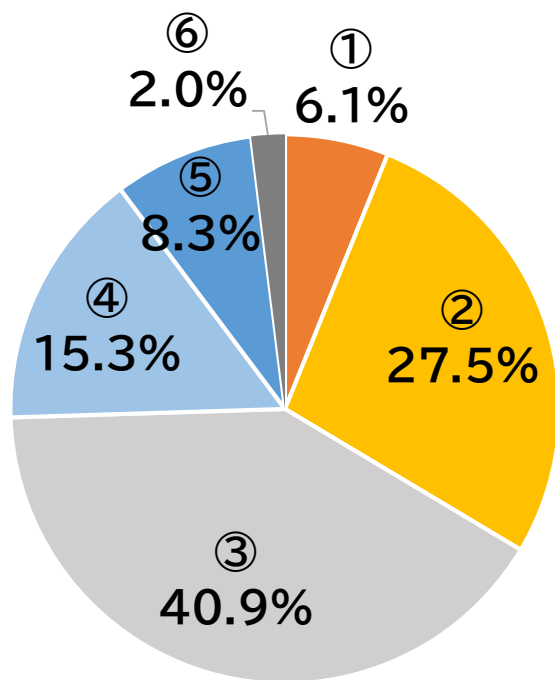


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	32	5.7%
②どちらかといえば満足	114	20.5%
③普通	212	38.1%
④どちらかといえば不満	116	20.8%
⑤不満	80	14.4%
⑥分からない	3	0.5%

- “①満足” “②どちらかといえば満足” と回答した方が合計で約26%、“④どちらかといえば不満” “⑤不満” と回答した方が合計で約35%と、身近な生活道路の整備に対して不満に感じている方の構成比が約9%上回っています。

(2) バイパスなど幹線道路の整備

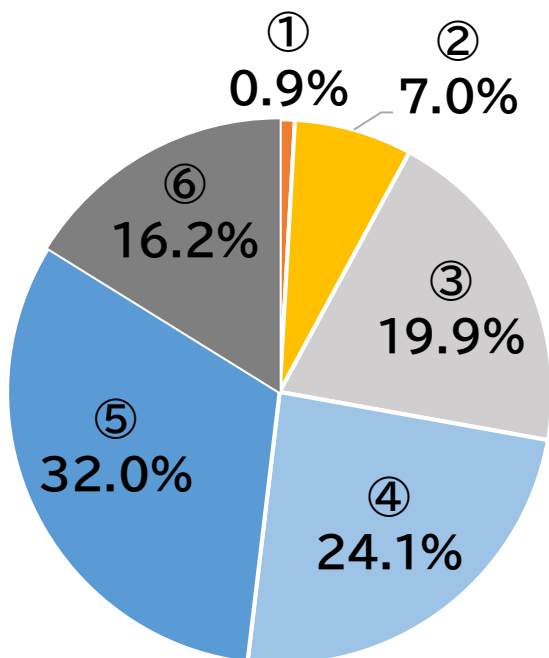


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	34	6.1%
②どちらかといえば満足	153	27.5%
③普通	228	40.9%
④どちらかといえば不満	85	15.3%
⑤不満	46	8.3%
⑥分からない	11	2.0%

- “①満足”“②どちらかと言えは満足”と回答した方が合計で約34%、“④どちらかといえは不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約24%と、幹線道路に対しては満足に感じている方の構成比が約10%上回っています。

(3) 市内循環バスなど公共交通の利便性

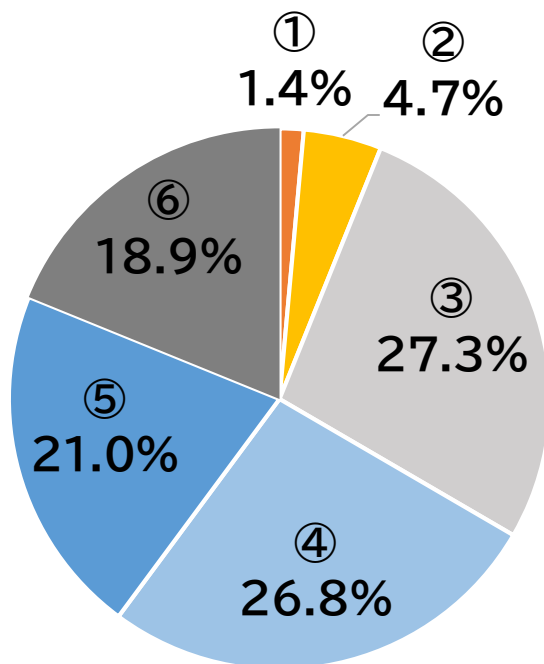


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	5	0.9%
②どちらかといえば満足	39	7.0%
③普通	111	19.9%
④どちらかといえば不満	134	24.1%
⑤不満	178	32.0%
⑥分からない	90	16.2%

- “④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方の合計が約56%と、過半数以上の方が市内循環バスなど公共交通の利便性に対して不満に感じている結果となっています。
- 一方、“①満足”と回答した方がわずか0.9%と極めて低い水準となっており、“②どちらかといえば満足”と回答した方を含めても合計で約8%にとどまっています。

(4) 市内の仕事や働く場(雇用)

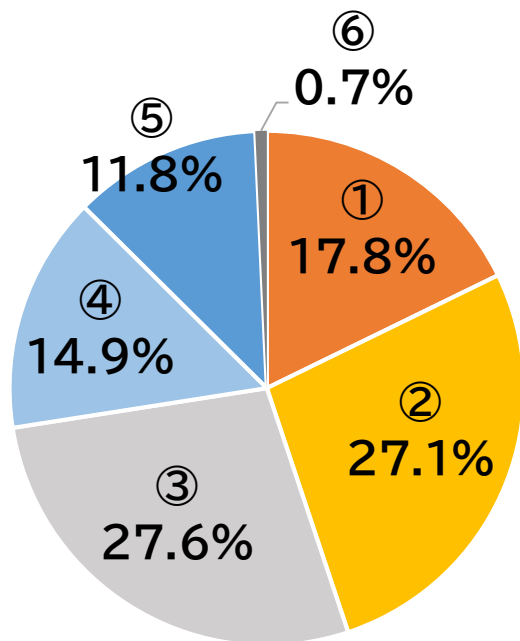


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	8	1.4%
②どちらかといえば満足	26	4.7%
③普通	152	27.3%
④どちらかといえば不満	149	26.8%
⑤不満	117	21.0%
⑥分からない	105	18.9%

- “①満足”と回答した方がわずか1.4%であり、“②どちらかといえば満足”と回答した方を含めても合計で約6%と、満足度が極めて低い水準となっています。
- 一方、“④どちらかといえば不満”と回答した方が26.8%、“⑤不満”と回答した方が21.0%と、半数近くの方が市内の仕事や働く場に対して不満に感じている結果となっています。

(5) ごみ収集やごみ処理

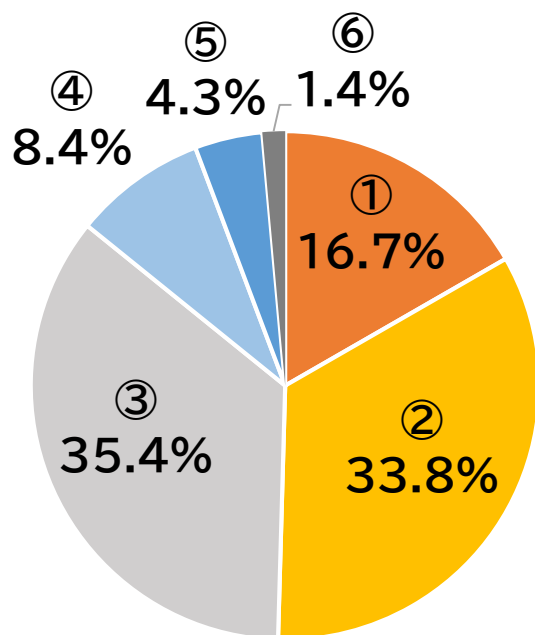


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	99	17.8%
②どちらかといえば満足	151	27.1%
③普通	154	27.6%
④どちらかといえば不満	83	14.9%
⑤不満	66	11.8%
⑥分からない	4	0.7%

- “①満足”と回答した方が17.8%と最も多く、“②どちらかといえば満足”と回答した方を含めると約45%と、半数近くの方がごみ収集やごみ処理に対して満足に感じている結果となっています。
- 一方、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約12%となっています。

(6) 自然環境

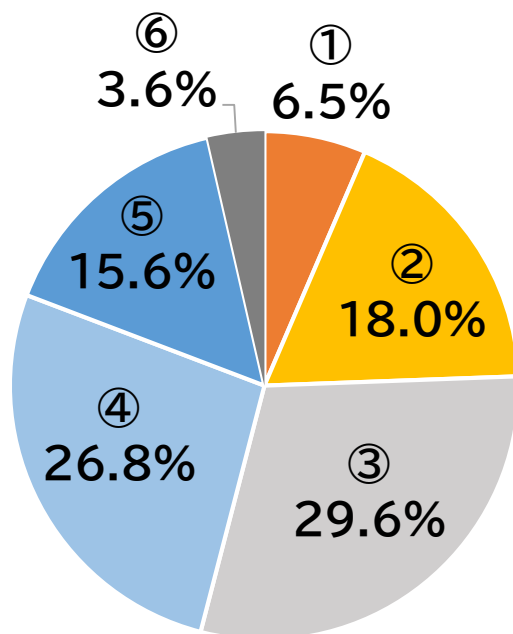


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	93	16.7%
②どちらかといえば満足	188	33.8%
③普通	197	35.4%
④どちらかといえば不満	47	8.4%
⑤不満	24	4.3%
⑥分からない	8	1.4%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方の合計が過半数を超えており、他の施策などと比較して自然環境に対する満足度が最も高い水準となっています。
- 一方、“④どちらかと言えは不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約12%となっています。

(7) 公園や遊び場

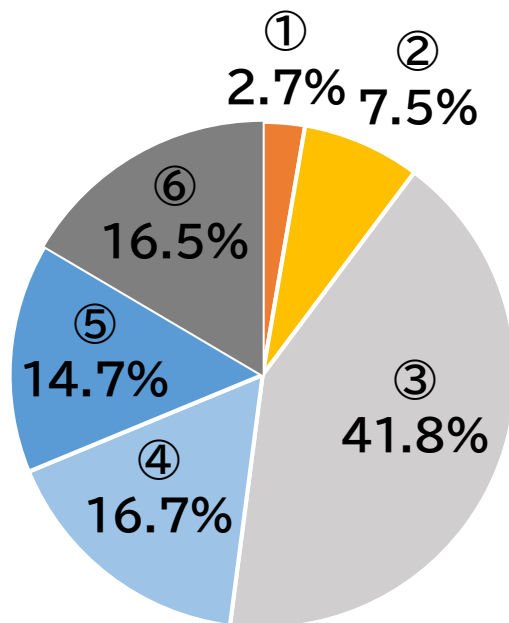


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	36	6.5%
②どちらかといえば満足	100	18.0%
③普通	165	29.6%
④どちらかといえば不満	149	26.8%
⑤不満	87	15.6%
⑥分からない	20	3.6%

- “④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約42%と、公園や遊び場に対して不満に感じている方の構成比が高い水準となっています。
- 一方、“①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約24%と、公園や遊び場に対して満足している方よりも不満に感じている方の構成比が約18%上回っています。

(8) 避難所などの災害対策

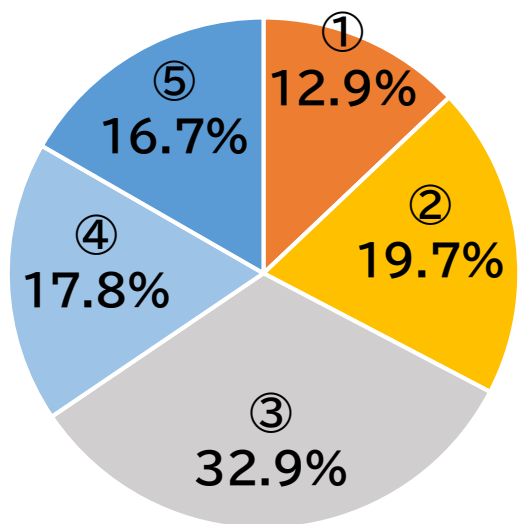


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	15	2.7%
②どちらかといえば満足	42	7.5%
③普通	233	41.8%
④どちらかといえば不満	93	16.7%
⑤不満	82	14.7%
⑥分からない	92	16.5%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約10%、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約31%と、不満に感じている方の構成比が約21%上回っています。

(9) 日用品などの買い物利便性

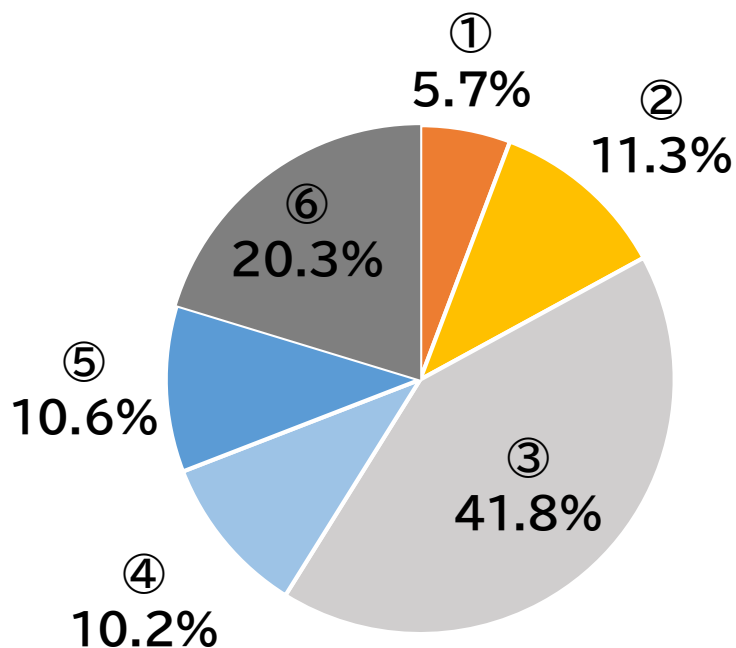


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	72	12.9%
②どちらかといえば満足	110	19.7%
③普通	183	32.9%
④どちらかといえば不満	99	17.8%
⑤不満	93	16.7%
⑥分からない	0	0.0%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約33%、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約35%と、満足に感じている方と不満に感じている方との構成比がほぼ同じになっています。

(10) 小中学校などの教育施設

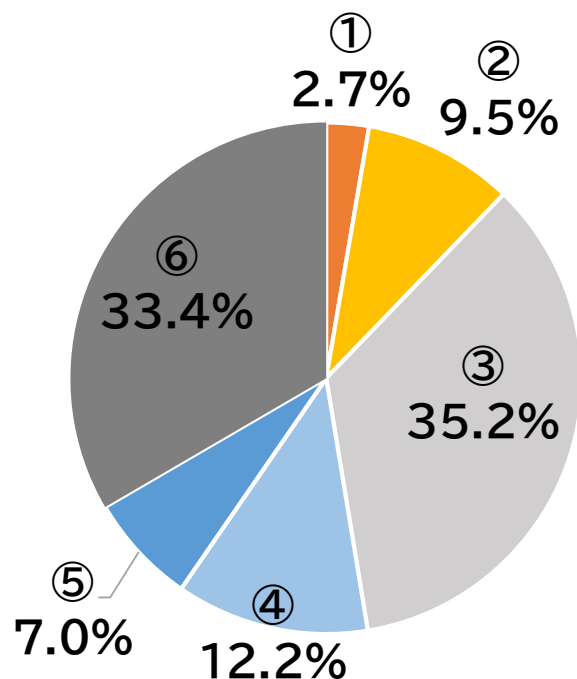


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	32	5.7%
②どちらかといえば満足	63	11.3%
③普通	233	41.8%
④どちらかといえば不満	57	10.2%
⑤不満	59	10.6%
⑥分からない	113	20.3%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約17%、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約21%と、不満に感じている方の構成比が約4%上回っています。

(11) 小中学校での教育内容や取組み

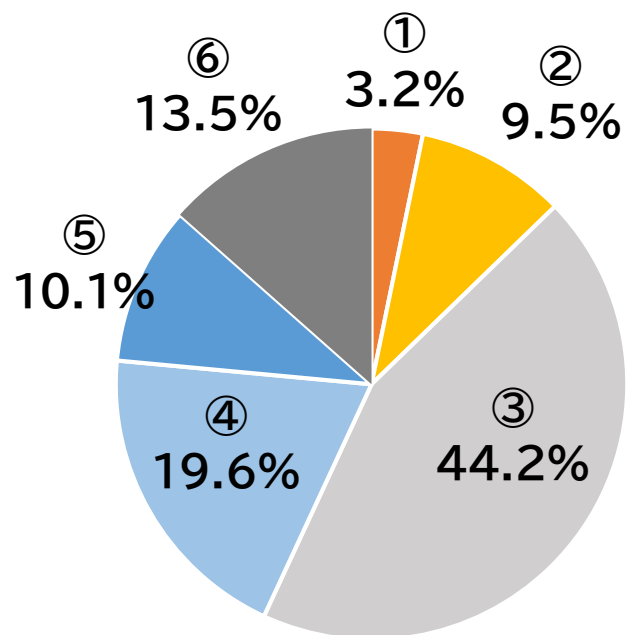


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	15	2.7%
②どちらかといえば満足	53	9.5%
③普通	196	35.2%
④どちらかといえば不満	68	12.2%
⑤不満	39	7.0%
⑥分からない	186	33.4%

- “①満足”“②どちらかと言えは満足”と回答した方が合計で約13%、“④どちらかといえは不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約19%と、不満に感じている方の構成比が約6%上回っています。

(12) スポーツ施設や文化・芸術などの発表の場

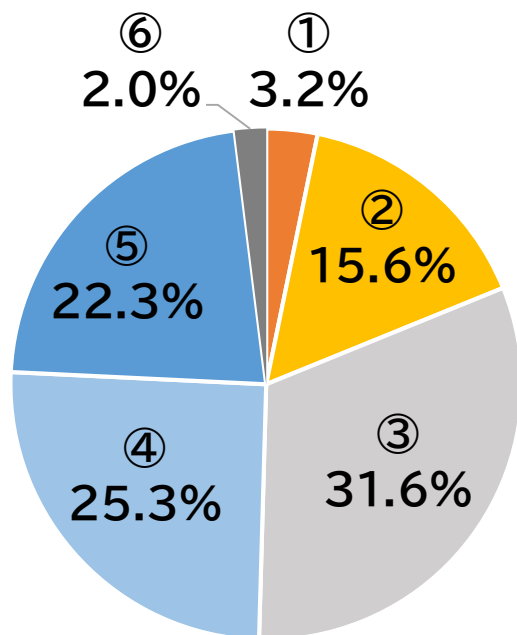


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	18	3.2%
②どちらかといえば満足	53	9.5%
③普通	246	44.2%
④どちらかといえば不満	109	19.6%
⑤不満	56	10.1%
⑥分からない	75	13.5%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約13%、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約30%と、不満に感じている方の構成比が約17%上回っています。

(13) 医療機関や医療体制

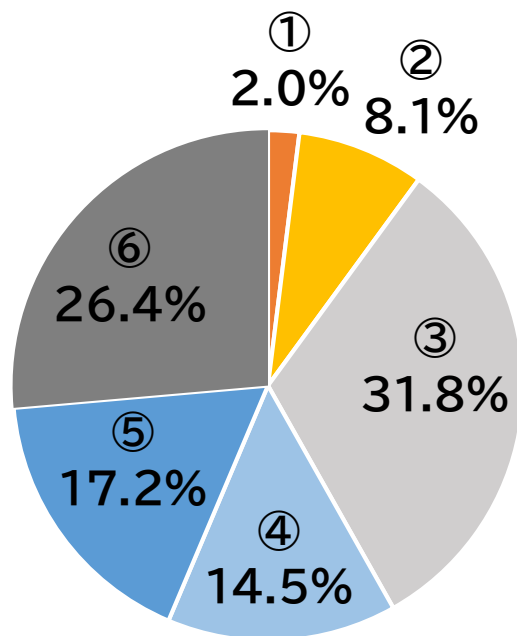


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	18	3.2%
②どちらかといえば満足	87	15.6%
③普通	176	31.6%
④どちらかといえば不満	141	25.3%
⑤不満	124	22.3%
⑥分からない	11	2.0%

- “④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方の合計が約48%と、半数近くの方が医療機関や医療体制に対して不満に感じている結果となっています。
- 一方、“①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約18%となっており、医療機関や医療体制に対して満足している方よりも不満に感じている方の構成比が約30%上回っています。

(14) 子育てに対する支援

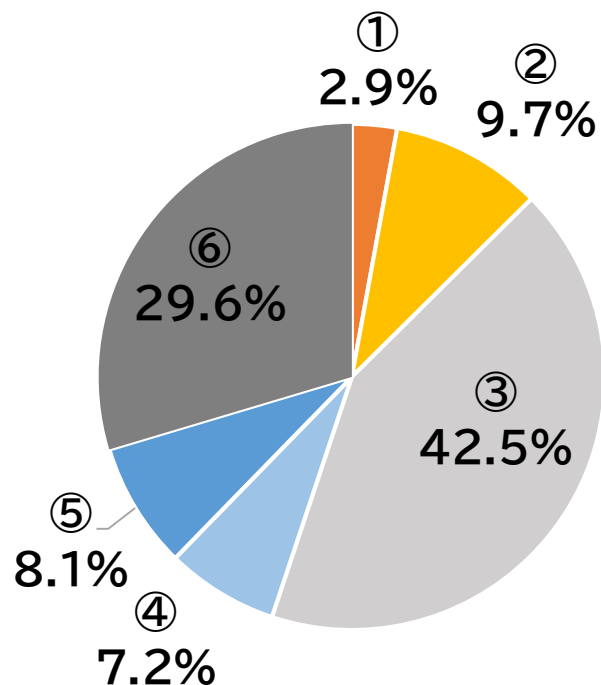


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	11	2.0%
②どちらかといえば満足	45	8.1%
③普通	177	31.8%
④どちらかといえば不満	81	14.5%
⑤不満	96	17.2%
⑥分からない	147	26.4%

- “①満足”と回答した方がわずか2.0%にとどまっており、“②どちらかといえば満足”と回答した方を含めても合計で約10%“となっています。
- 一方、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約32%と、子育てに対する支援に対して満足している方よりも不満を感じている方の構成比が約22%上回っています。

(15) 保育所や幼稚園などの児童福祉

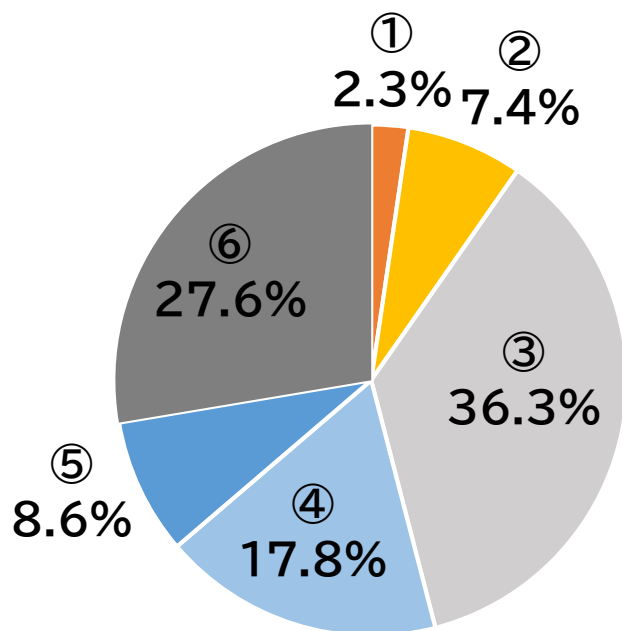


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	16	2.9%
②どちらかといえば満足	54	9.7%
③普通	237	42.5%
④どちらかといえば不満	40	7.2%
⑤不満	45	8.1%
⑥分からない	165	29.6%

- “①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約13%、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約15%と、保育所や幼稚園などの児童福祉に対して不満に感じている方の構成比が約2%上回っています。

(16) 高齢者に対する福祉

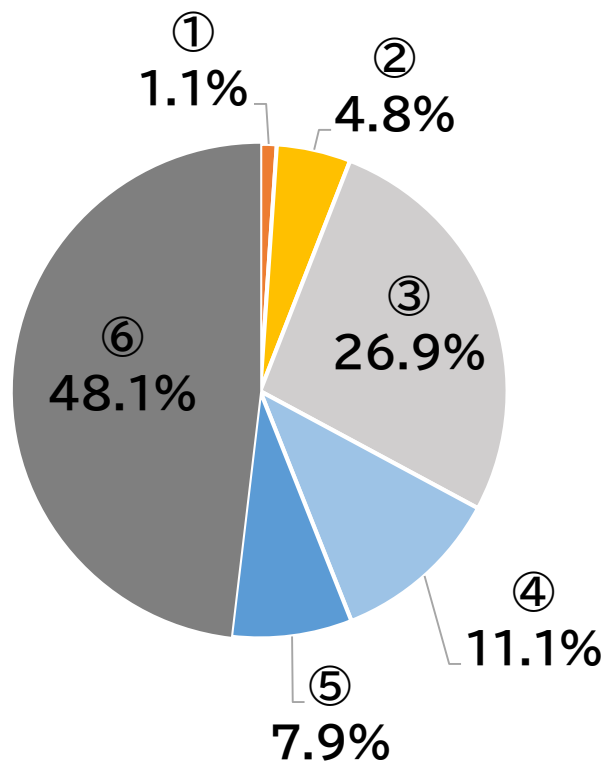


(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	13	2.3%
②どちらかといえば満足	41	7.4%
③普通	202	36.3%
④どちらかといえば不満	99	17.8%
⑤不満	48	8.6%
⑥分からない	154	27.6%

- “④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約26%、“①満足”“②どちらかといえば満足”と回答した方が合計で約10%と、高齢者に対する福祉に対して不満に感じている方の構成比が約16%上回っています。

(17) 障がい者に対する福祉



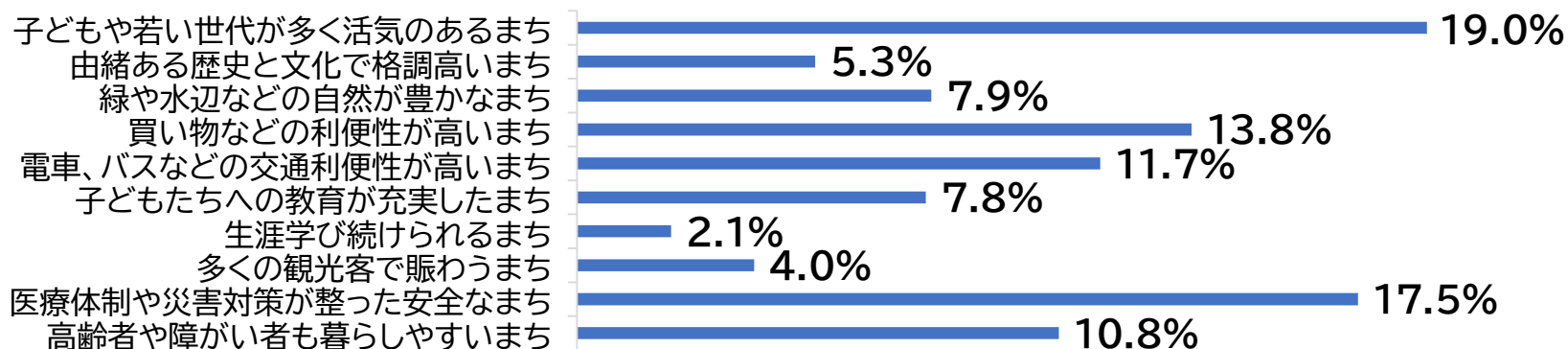
(n=557)

満足度	人数	構成比
①満足	6	1.1%
②どちらかといえば満足	27	4.8%
③普通	150	26.9%
④どちらかといえば不満	62	11.1%
⑤不満	44	7.9%
⑥分からない	268	48.1%

- “①満足”と回答した方がわずか1.1%にとどまっており、“②どちらかといえば満足”と回答した方を含めても合計で約6%と低い水準となっています。
- 一方、“④どちらかといえば不満”“⑤不満”と回答した方が合計で約19%と、障がい者に対する福祉に満足している方よりも不満を感じている方の構成比が約13%上回っています。

3. 行田市の目指すべき将来像（選択式）[回答必須]

行田市の目指すべき将来像について、計10項目のうち3項目を上限として選んでいただきました。



- “子どもや若い世代が多く活気のあるまち”と回答した方が19.0%と最も多く、次いで“医療体制や災害対策が整った安全なまち”、“買い物などの利便性が高いまち”の順で高い水準となっています。
- 一方で、“生涯学び続けられるまち”と回答した方がわずか2.1%にとどまっており、“多くの観光客で賑わうまち”、“由緒ある歴史と文化で格調高いまち”の順で低い水準となっています。

(n=1612)

	人数	構成比
子どもや若い世代が多く活気のあるまち	307	19.0%
由緒ある歴史と文化で格調高いまち	86	5.3%
緑や水辺などの自然が豊かなまち	128	7.9%
買い物などの利便性が高いまち	222	13.8%
電車、バスなどの交通利便性が高いまち	189	11.7%
子どもたちへの教育が充実したまち	126	7.8%
生涯学び続けられるまち	34	2.1%
多くの観光客で賑わうまち	64	4.0%
医療体制や災害対策が整った安全なまち	282	17.5%
高齢者や障がい者も暮らしやすいまち	174	10.8%

4. その他まちづくりに関する自由意見(記述式) [回答任意]

(1) 健康福祉

- ・ 医療体制が貧弱で不安である。医療体制を充実させるには時間を要すると思うが、せめて救急車の台数を増やしてほしい。
- ・ 小児医療が充実しておらず、休日当番医等も逼迫していて機能していない。
- ・ 休日診療など緊急時に対応してくれる病院が市内にないため、隣接市の医療機関が代わりに対応してくれている。
- ・ 高熱が続いていたのに年末年始を理由に子どもの検査をしてもらえず症状が悪化した。休日診療など救急医療体制を見直してほしい。
- ・ 市内に病院・診療所が少なく、市外の医療機関で受診しているため市内に誘致してほしい。
- ・ 発熱した子どもを何時間も抱えて診療待ちをしたのに医師と話せたのがたった30秒だった。
- ・ 障害者に対して差別をするなど、今どき珍しい福祉施設が市内にある。
- ・ ひとり親でも収入によって医療費を支払わなければならない、隣の市と比べて負担が大きいので子育てしづらい。
- ・ 出産費用等の軽減措置などの支援にも力を入れていただけるとさらに住みやすくなる。
- ・ 4ヶ月健診の次が1歳6ヶ月では、間隔が空きすぎだと思う。手厚い支援の姿勢が感じられない。
- ・ 医療費負担を軽くするとか体調が悪いときに費用を気にせずに医療に行けるとよい。
- ・ 障害により日々の不安と不便を感じている。働きたくても働けず、障害年金だけでは生活できないので手厚い支援をしてほしい。
- ・ 若者や子どもに依存するのではなく、高齢者や障害のある方も自助努力し、共存できるようになるといい。
- ・ 往診してくれる病院が少ないので、往診の先生を増やしてほしい。検査も在宅でできることが理想であり、在宅医療を充実させてほしい。
- ・ 市内スーパーが行っている配達サービスのエリアが中心市街地のみで郊外にはスーパーがない。郊外に居住している高齢者の日用品などの買い物のあり方を検討してほしい。
- ・ ウェルシアの移動販売が始まり、買い物難民の方にはとてもありがたく素晴らしい取り組みである。ぜひ台数を増やしてもらいたい。まだ認知度が低いので、市報への掲載頻度を上げるなどしてもっとアピールすべきだと思う。
- ・ 市が移動スーパーを運営するか、業者委託するなどして買い物弱者を支援してほしい。

(2) 子育て

- ・ 3歳未満児の保育料無償化の開始が待ち遠しい。
- ・ 第3子の保育料無償化を実施しているが、子どもが年少になると給食費などで家庭の支出が増えるのでそれも支援してほしい。
- ・ 毎日の生活が大変であるため、ひとり親家庭への支援を充実させてほしい。

- 若い人が住み、行田で子どもを産み育てたいと思える環境を整えてほしい。
- 児童センターが遠いため、子どもだけでは遊びにいけないし少し狭く感じている。きっぷプラザあおいは就学前の乳幼児しか利用できないので、夏休みなどは小学生の兄弟がいる乳幼児の利用を断念している。
- 子どもたちが集まって遊べる全天候型の施設を整備したらよいと思う。
- 水城公園やさきたま古墳公園の歴史的価値を残しつつ、子どもたちが楽しめるような施設を整備してほしい。
- コミュニティセンターやきっぷプラザあおいを(小学校跡地を活用することを含めて)再編してほしい。
- 子どもの遊べる広場だけでなく、同時に親が集える場所を整備してほしい。
- 子どもを育てるには2人が限界であり3人目以上を育てるほど家計に余裕がない。例えば、オムツ代やミルク代を補助するなど子育て支援に力を入れてほしい。
- 子どもの成長につれて教育費が嵩むため、負担軽減につながる施策を展開してほしい。

(3) 教育

- 今後、進められていく学校再編など、学校教育の環境変化に対し真摯な対応をお願いしたい。
- 学校再編成計画はとてもいい案だと思うし、すぐに取り組むべきである。実現の際は学童等の整備もお願いしたい。
- 埼玉県初の国立高等専門学校を誘致したらどうか。
- 1クラス当たりの人数が少ないため、小学校、中学校の規模を大きくしてほしい。そうすれば学力のレベル向上や交友関係の拡大、部活動の存続などが期待できる。
- 少子化が進行していたのに統廃合をしなかった結果、活気のない教育環境になっている。
- スクールバスなどで通学校を自由に選択できるようにしてほしい。
- 早急に中学校の制服にスラックスを導入してほしい。
- GIGAスクール構想の推進に際しては、5年10年先の子どもたちの将来を見据えて教育方針を考えてほしい。
- 公立小中学校の現場を見てほしい。無駄になっているタブレットについて、一斉操作を開始すると動かなくなる。
- タブレット端末を全く持ち帰ってこないのが活用されているか疑問に感じている。
- タブレット端末を活用した教育も大事であるが、子ども自身でどのように活用するかを考える思考力を鍛える教育も取り入れてほしい。
- 教職員の働き方改革のため、事務処理をスムーズに行うことができるシステムを導入したらどうか。
- 学校への欠席連絡など、スマートフォン等で容易に連絡できるシステムを導入してほしい。
- 支援学級の質の向上を図るとともに、教室などの場所の確保をしてほしい。

- ・ 不登校になってしまった子どもに対する支援やサポートを充実させてほしい。学びの場所を作ってほしい。
- ・ 小学生や未就学児の子どもを数人育てている。多子世帯の母親が通学時の立哨登板やPTA役員などを担うのは困難である。
- ・ 学校のPTA活動以外にも児童会など様々な活動(学校に関係ないものが多数)をやらなければならない負担が大きい。
- ・ アレルギー対応の学校給食を導入してほしい。近隣の鴻巣市では自校式の給食でアレルギーに完全対応している。
- ・ 学校給食に地場産品を活用するなど、地産地消を推進してほしい。
- ・ 高校数が減っている理由を教えてください。近隣市、特に羽生市は減ってない。
- ・ 子どもが学校で怪我をした際の対応に納得ができなかった。未来を担う子どもたちに何かあった時でもきちんと対応できる仕組みが必要であると思う。若い方が安心して子育てできるまちになることを期待する。
- ・ 図書館にインターネットとAC電源がほしい。調べ物をしたり資料をまとめるときに不便である。
- ・ 図書館の設備を良くしてほしい。自動貸出機の設置、席を増やす。

(4) スポーツ・歴史・文化

- ・ 野球場が市内に多すぎる。サッカーやラグビーなど他の競技施設も充実させてほしい。
- ・ 学区内にスケートボードができる場所を整備してほしい。
- ・ 市内スポーツクラブに対して優先的に施設を利用させてほしい。(野球やサッカーのホームグラウンドとしての利用)
- ・ 健康寿命を延ばすために運動施設を身近な所に増やしてほしい。
- ・ 子どもや大人が体を動かせるアスレチック広場、パークゴルフなどがほしい。
- ・ 行田市のプロバスケットチームを創設し、Bリーグ参入を目指す。
- ・ 地区の運動会や市の運動会への強制参加をやめてほしい。
- ・ 子育てと仕事を両立させながら地区体育祭へ参加することに負担を感じている。
- ・ 歴史ある街をもっとアピールするとよいと思う。
- ・ 行田には古い蔵やまちなみが今も残っていて、それに関してはとても素晴らしいことだと思う。
- ・ 行田の自然と歴史を生かして市外から人が訪問してくる街にできるとよい。
- ・ 埼玉古墳群、忍城址、古代蓮、足袋と誇るべき歴史遺産を持ちながら、それらを十分に活かしてきていない。今後、ものづくり大学や企業などと連携したらよいと思う。
- ・ 各博物館のX(旧Twitter)を開設し、展示物とか地域のことなどを発信したらよいと思う。

- 日本遺産の建物がかなり損傷している。文化財や歴史遺産を見直しするとよいと思う。
- 芸術に関する理解をもう少し深めるとともに、施設を増やしてほしい。
- 日々の生活を豊かにするために、心の栄養として文化の向上も必要だと思う。
- 産業文化会館でのクリスマスコンサートやスプリングコンサートなどを楽しみにしていたが、なくなってしまうと残念である。
- 産業文化会館のキャパシティが大きくなり、交通の便が良くなると様々なアーティストのコンサート開催が可能となり、遠方から大勢の集客が見込める。周辺への経済効果も期待できるため、産業文化会館を立て直してほしい。

(5) 安全安心

- 集中豪雨災害時に避難できる高い建物が周辺にない。工場などの民間施設を避難所等として活用できないか。水害避難タワーの整備も考えられる。
- 水門の閉鎖などメール等で連絡をもらえる仕組みはよいと思う。水門の管理をしている方々に感謝する。
- 利根川や市内上流の河川に監視カメラを何か所か設置し、集中豪雨災害時に情報提供してほしい。
- 内水氾濫を起こさないようしっかり整備をしてほしい。
- 災害が少ない地域だからこそ「災害に強い街」として住みやすさを強調できるのではないか。災害対策に対して今一度目を向けていただきたい。
- 災害が少ないことをもっと市外にPRするとよいと思う。
- 大規模災害の発生が予測される中、地域コミュニティの防災力向上を図るためにも共助に関する行政の関与・支援を強化してほしい。
- 避難した際にアレルギーの人でも食べられるような非常食を用意してもらいたい。
- 震災等が発生した場合、十分な備蓄品があるかなど心配である。例えば、障がいを持つ方々への緊急対応もどこまでできているのだろうか。
- 防災意識が市民に根付いていないと感じているので、防災意識を高めるための取組みをしっかりとしてほしい。
- 防災ぎょうだの放送が聞こえづらいので改善してほしい。

(6) 住環境

- 遊具のある公園の数が少なく感じる。歩いていける範囲に公園を設置してほしい。
- 広くて遊具が大きい公園を整備してほしい。
- 水城公園やさきたま古墳について、歴史的価値を残しつつ子どもたちが楽しめる場所として整備してほしい。

- 公園内に除草剤を撒いているところもある。散布後に立入禁止ロープを張っているが、道沿いを通行すれば散布箇所付近に近づくことになり、気休めにもならない。
- 古代蓮の里にストレッチ等ができる健康器具を設置してほしい。
- ペットと一緒に手ぶらで遊びに行くことができる施設(ドックランやバーベキュー場など)があるといい。
- 公園内に犬の糞が多くマナーを守らない飼い主が多いので改善してほしい。
- 道端でペットの糞を始末しない飼い主が多いので困っている。猫の放し飼いでの糞尿被害も多い。
- 新たにできる施設が老人施設か葬儀関係ばかりである。街中をもう少し賑やかな感じにしたらよいと思う。
- JR行田駅から徒歩圏・自転車圏に田んぼが多いので、住宅エリアとして開発すれば人口増やJR行田駅利用者も増えると思う。
- JR行田駅付近の賑わい創出のために駅の再開発等を推進するなど具体的な目標と施策を決定してほしい。
- 行田市駅の整備や再開発をしたらどうか。
- 吹上駅よりも地元住民がJR行田駅を利用し、地元にお金を落としてもらえるようなまちづくりをしてほしい。
- 行田は利根川と荒川に挟まれその豊かな伏流水に恵まれた都市である。昔の水路の復活も含め水を生かした新しい都市計画を望む。
- 点ではなく線、もしくは各ゾーンを繋げるようなランドデザインが必要である。30年前の川越蔵造通りの町並みは、ただの古びた町並みだったので、行田も地道に取り組みれば目指せないことはないと思う。
- 首都圏と接続している秩父鉄道を活用したまちの賑わいづくりを考えたらどうか。駅から徒歩圏内に劇場、演芸場、小ホールなどの施設を誘致し、平日は高齢者、休日は若者、家族連れなどをターゲットとするとよい。
- 行田市駅も無人駅なり、鳩の巣、糞だらけで非常に汚い。
- 行田は関東平野を感じることができる広い土地が魅力である。せっかくの平地、田んぼを安易に建物を建てたりせず活かしてほしい。
- 開発に直結する区画整理や農地転用が進まないのはなぜか。
- 商業施設や交通機関を集中させたコンパクトシティを実現すべきだと思う。田園部などのインフラにお金をかけるべきではない。
- せっかく忍城址があっても高齢者やベビーカー、身体の不自由な障害者に優しくない。
- 市街地の空き家を整理して若年層の居住区域を増やすとよいと思う。
- 空き家を少しでも減らしてほしい。空き店舗を子どもやお年寄りのために有効活用できるようにしてほしい。
- 住める空き家は、シェアハウスにすればよいと思う。
- 下水道などは近隣市町村に比べて、随分早い時期から整備されている。
- 長野1丁目や3丁目など市街化区域が未だに浄化槽による生活排水処理をしている。下水道の普及率を上げるべき。

- ごみ袋に紙袋を使用しなければならない理由がわからない。ビニールのゴミ袋を一刻も早く導入してほしい。
- 燃えるごみなど他の市町村と比較しても頻繁に収集に来てくれるので助かっている。生活に直結した事業は継続してほしい。
- ごみの各戸回収を実施してほしい。
- ごみ焼却施設の刷新を早急に進めてほしい。最新技術で焼却発電や温水プール等の併設を検討すれば周辺地域のためにもなると思う。
- 地域のごみ集積所の衛生面が気になる。カラス等がごみをあさっていることを見かけるので、早急に対応していただきたい。
- 資源の分別、リサイクル、エコロジーに積極的に取り組んでほしい。そうすればリサイクル率も高くなると思う。
- 古代蓮の里近くにあるごみ焼却施設の熱を利用した温水プールや温泉を立てて欲しい。
- 野焼きによる煙が洗濯物に付着したり、道路交通の妨げとなるなどかなり困っている。
- 行田は自然を学べる場が少ないので、前玉神社裏の森の整備や、利根川、荒川の水辺の環境を整えてほしい。
- 周辺の状況を常に把握して、自然環境の保全を徹底してもらいたい。
- 自然が豊かで空が広いのが魅力的で移住した。このまま自然が沢山残されたまちになってほしい。
- 家の周辺で一般家庭が野焼きをしている。子どもがアレルギーを持っているので止めてほしい。
- 夏は涼しいので散歩もできたが、去年から過度な剪定で木陰がなくなっている。市長も散歩するなどして現場をみてほしい。

(7) 道路交通

- 通学路の安全確保をしてほしい。大型車が通行するなど交通量が多い道路であるのに何年間も歩道が整備されない。いつ車が突っ込んで来てもおかしくないと思う。
- 忠次郎蔵の前は道路がきれいになったが、ブロック舗装のためベビーカーや杖では歩きにくくなってしまった。ユニバーサルデザインを意識した整備を心掛けてほしい。
- 自然のサイクルを無視したような街路樹剪定はやめてほしい。木の幹しか残っていない路線もあり、日陰にならず景観もよくない。
- 南大通りは、トラックが通行すると自宅に振動が発生するので、抑制するよう舗装し直してほしい。
- 道路の白線が消えても放置されているので改善してほしい。
- 地域によってはすれ違いができないほど幅員が狭い道路があり、電柱も飛び出でてして運転しにくい。
- 渋滞がないまちであることに満足している。
- 市長の目指している、R17バイパスの高速道路化に大いに賛成している。道路網が進化すれば、企業誘致の優位性や観光地としての魅力増大に大きく寄与する。

- 市内に高速道路のインターチェンジがあるとよい。高速道路の延伸をぜひお願いしたい。
- 東北道羽生ICの案内が「羽生行田」とならないのはなぜか。
- 除草作業が行き届いておらず、自動車を運転していて見づらい場所が多い。
- 幹線道路の中央分離帯などに草が繁茂していて見づらいことが多い。事故につながりやすいので対策してほしい。
- 未舗装の道路があり、高齢者が転倒するなどの危険性があり困っている。
- 自転車が安全に運転しやすいよう自転車道を整備してほしい。また、歩道に凸凹がある箇所をきちんと修繕してもらいたい。
- (自転車レーンの延伸など)生活道路を安全に広くする方が、市民の日常は便利になるのではないかと思う。
- 街なかでの車の交通マナーを改善してほしい。
- 自転車のマナーが悪すぎるので取締りを強化してほしい。
- 信号が1か所ずつ赤になる路線がある。燃費も悪くなるので交通の流れが円滑になるようにしてほしい。
- 交通マナーが悪い運転者が増えているので定期的に防災無線や市報で注意を促してほしい。
- 行田駅前の駐輪場は無料で利用できるのも今後も継続してほしい。
- 駅周辺の自転車置き場は無料で助かっている反面、防犯対策が実施されていない。施錠をしても盗難に遭うことが多いため、低額料金で預かっていただくシステムの導入や防犯カメラ設置、パトロールの強化などをしてほしい。
- もう少し街灯を増やしてほしい。
- 防犯面安全面から街灯などを増やし、明るいまちにしてほしい。
- 信号機が逆光で見えにくい場合があるので全てLED化してほしい。
- JR行田駅前からの公共交通手段が非常に少ない。タクシー、バスなどを充実させてほしい。
- 近隣市など公共交通網への財政支援を強化し、羽生駅、加須駅、鴻巣駅など鉄道駅へのアクセス向上をお願いしたい。
- 市内循環バスを近隣市のショッピングセンターや吹上駅、鴻巣駅、北鴻巣駅にも運行してほしい。
- 市内循環バスを全て廃止し、その経費を民間路線バスの補助に充てて、増便や古代蓮の里やさきたま古墳公園経由の北鴻巣駅行きなど新路線の運行を開始したらよいと思う。
- 市内循環バスの南大通り線の土日祝の本数が減り通勤しづらくなった。利用者の意見などをもっと聞いてほしい。
- JR行田駅と南大通線を軸として住宅を造成し、バスを増便する。羽生駅、古代蓮の里、埼玉古墳、JR行田駅を経由したバス路線を運行する。
- 運転免許証の返納をすると通院等の足がないため、タクシー利用の支援や買い物支援など様々な支援を充実させてほしい。
- 駅が遠い地区でもバスなどで通学しやすい環境にしてほしい。

- ・若い世代向けではなく、高齢者にとっても優しいまちにしてほしい。デマンドタクシーも利用しにくく、結局家族が仕事を休んで病院の送迎などをしている家庭が多い。
- ・近隣市に1回当たりの利用料金が定額の乗合いタクシーがあると聞いているので導入を検討してほしい。
- ・バスの運転手の減少対策として市限定のライドシェアを導入したらどうか。

(8) 産業

- ・近隣市町村と比べ大型商業施設が少ないため、もう少し活気のある商業都市を目指してほしい。
- ・飲食店やカフェなど人が集う場所が乏しく、ショッピングセンター、映画館、テーマパークなどの娯楽施設が1つもない。企業誘致など、税収アップを見込む政策が必要である。
- ・大型ショッピングモールやアウトレットなど誰もが買い物することができる場所を設置してほしい。
- ・国道17号バイパスや国道125号周辺に一団の土地があるため、映画館、ボーリングなど大きな商業施設を誘致してほしい。
- ・国道17号バイパスや国道125号の幹線道路沿いを開発してほしい。
- ・羽生市の国道122号沿線のように、国道125号沿線にある農地の開発手法を探るとよいと思う。
- ・人口の少ない北部地区等に工場や商業施設などを誘致してほしい。
- ・JR行田駅、JR吹上駅から市街地までの市街化調整区域を開発し、住宅地や商業施設として整備したらよいと思う。
- ・企業誘致を積極的に進め、若者の働く場所を確保しなければ立ち行かなくなると思う。
- ・子育て世代が地元で働ける場所や集客力のある小売企業を誘致してほしい。
- ・さきたま古墳公園周辺の商業施設を拡大し、公園内に遊具の設置やアミューズメント施設の誘致などをするとよいと思う。
- ・地元産の野菜やお米などが常に購入できる場所を整備してほしい。
- ・道の駅を整備するなど、市内への集客が期待できて市が潤うような施策を推進してほしい。
- ・とりあえずはJR行田駅前にコンビニ1個だけでもいいので誘致してほしい。
- ・スターバックスやタリーズコーヒー、コメダ珈琲店など魅力的なカフェが1つもなく、衣料品店や雑貨屋も少ない。魅力的な店を増やしてほしい。
- ・中心市街地にスーパーマーケットが次々と閉店し、不便に感じている。
- ・プレミアム商品券を購入しても、衣料品店や雑貨屋が少なく感じていてあまりお得感がない。
- ・新町商店街が商店街ではなく、ただの住宅街になりつつあることに違和感を感じている。
- ・行田市の商店街、特に秩父線行田市駅周辺に活気がないことや、行田商店共通商品券が利用できる魅力的な店舗が少ない。

- 熊谷市でやっている「クマPAY」のようなものを行田市でもやってほしいです。
- プレミアム商品券について年1回の販売、抽選ではなく、もっと販売回数や枚数を増やしてほしい。
- 旧新井八郎商店洋館や蔵の再利用を目的として、企業誘致、蔵借り上げ等の施策を実施したらどうか。
- 家賃補助を受けていたが本当に助った。もっと、そういう施策を全面的にPRし、市内にお店を増やしてほしい。
- 若者が商店街の空き店舗で事業を開始できるように補助金等の施策を充実させてほしい。
- 花手水の期間は観光客がとても多く感じるが、カフェなどの休憩所が少ないのもっと支援してあげたらよいと思う。
- 市内に以前あったようにパシオスのような大型スーパーを復活させてほしい。
- 秩父鉄道とタイアップして市内各駅周辺にレジャー施設を設置し、収益は秩父鉄道と折半するような案件を考えてほしい。
- 素晴らしい田畑が一面にあるのにあまり充実していない。農家がやりがいの持てるように食に関することを前向きに考えてほしい。

(9) 観光

- 花手水などの取組みで沢山の人が歴史あるまち行田を訪れている。行田を知っていただけていることは素晴らしいと思う。
- 花手水やライトアップ、消防イベントなど楽しい企画が多い。そのため、県外から多くの観光客がきて賑わっていると感じる。
- 飲食店を誘致するための優遇措置など新たな支援策を展開し、JR行田駅を起点に南大通り沿いをグルメ通りとすれば観光客を招来できると思う。
- 商店街の共通駐車券などを発行し、各店舗の空きスペースを商店街の駐車場として利用できるようにすれば、観光客も車移動をせずに街歩きしやすくなるのではないか。
- 市中心部でのお祭り・イベントに参加する際、駐車場が少ないため郊外の人参加しづらい。
- 観光資源を生かした滞在型のまちづくりを推進してほしい。古代蓮の里のRV設置はキャンピングカーブームへの入口である。
- 野外活動ができる場(バーベキュー場、キャプ場など)を整備すれば家族連れや若者などが集うと思う。
- 首都圏と接続している秩父鉄道を活用したまちの賑わいづくりを考えたらどうか。駅から徒歩圏内に劇場、演芸場、小ホールなどの施設を誘致し、平日は高齢者、休日は若者、家族連れなどをターゲットとするとよい。
- 田んぼアートを長期的に実施してきたのはよかったと思う。古代蓮の里タワーの活用方法を増やすことが必要であると思う。
- さきたま古墳公園でフェスや、古代蓮の里タワーを活用したドローン大会など、歴史を感じる場所などで新たな取組みを展開していけるとよい。
- 近年観光に力を入れ、全国にアピールしていることをとても評価している。リピーター率を高めるため、より一層創意工夫を凝らしてほしい。
- 旧国道125号の通り沿いが川越のように観光化してほしい。

- さきたま古墳公園と古代蓮の里を結んでいる遊歩道の手入れがされていない。リピーターを獲得するためにも、また行きたいと思える様な計画を心掛けてほしい。
- 最近、テレビのロケなどが多くなってきているので、それを最大限に活かして行田を盛り上げて欲しい。
- さきたま古墳や古代蓮、忍城址など観光資源が豊富にあり、テレビや映画などメディアにも取り上げられているのに賑わいが創出されていない。
- ゼリーフライやフライ、焼きそば、甘味何処など食べ歩きが楽しめる横丁を手掛けたり、風情あるお土産店などを充実させたりしたらよいと思う。
- 古代蓮の里イルミネーションにしても忍城の花手水ライトアップにしても、市職員のアイディアには限界を感じる。観光客を呼び込んでも滞在できる場所が少ないのでお金を落とすこと期待できない。外部委託などをしないと観光客に飽きられる。
- 中途半端な観光イベントが多い気がする。忍城址があり、蔵造りの建物などが多く点在しているのに持続的な観光発展へは繋がっていないと感じる。
- 温泉施設を復活又は充実させ、宿泊施設を充実させれば蓮の開花時期に観光客が増えるのではないか。
- 自動販売機を設置して行田の名物を販売したらよいと思う。
- 観光施設付近に食事や買い物、休憩などができる店舗が少ない。それらを誘致、整備することで多くの観光客が来訪すると思う。観光地の整備、美化は継続してほしい。
- 観光施設の清掃が行き届いていない。シルバーの積極的な活用など日常的な管理は任せられると思うため、新たな制度を設けたらどうか。
- 観光客の受入れのためにもトイレを早急に設置するべきであると思う。
- 観光客を誘致するため、商店街の見た目を明治大正期の足袋蔵風などに揃えるなどして、役所が中心になって動いてほしい。
- 観光に力を入れている様に見えるが不十分で中途半端に思える。どうせやるならもっと予算をかけた方がよい。

(10) 地域コミュニティ・行財政運営

- 自治会組織の高齢化により、自治会の消滅や合併等が懸念されるため自治会制度を改善してほしい。
- 自治会活動は単身、共働き世帯にとって負担であり、高齢化により存続も難しくなっていくと思うため改革を推進してほしい。
- 共助の必要性は認めるが、自治会やPTAなどの活動について抜本的に改革し、マンパワーの負担軽減をお願いしたい。
- 高齢者は公民館、やすらぎの里などで楽しんでいるようだが若い人の姿が見えない。
- 自治会加入率の低下や担い手不足等により、持続可能性が低下している。防災や高齢者、子どもの見守居場所づくりなど、地域ニーズに対しての体制が不十分である。
- 廃校となった校舎や体育館などを合宿施設として活用することや、音楽室や家庭科実習室等を普段使いできるようにするとよいと思う。
- 幅広い若者が住み続けたいと思えるようなまちになるよう廃校施設の活用などを進めてほしい。

- ものつくり大学の学生の移住促進をする。
- 奨学金の補助など、若者に対する移住施策も必要な事業であると思うが、今住んでいる市民が転出しない、住み続けたいと思える施策やまちづくりを展開してほしい。
- 小学校や市役所など公共施設のトイレ、水回りの設備が古いので新しくしてほしい。特に、和式トイレの比率が高い施設では数少ない洋式トイレに列ができる。また、水漏れがあって閉鎖している箇所もある。
- 図書館や教育施設、公園など公共施設を増やしてほしい。
- 資料館などの割引制度が他市町村はあるが、行田には市民に対する特典が全くない。
- 地元住民と市外住民との区別がなく、博物館やタワーなどが一律の値段である。観光に行った際、地元住民は半額である場合があり、地元住民が大切にされていると感じる。市民ファーストをお願いしたい。
- 高齢者に対するデジタル化の支援、情報共有をしっかりと取り組んでほしい。
- 電子申請届出サービスがとても便利である。このままさらにDXに力を入れていただけるとありがたい。
- 各種申請に口座番号の写しを添付させるのをやめてほしい。申請者と対象者が同一でも複数の書類をかかされる場合がある。公金振込口座を使用すればよいと思う。
- IT環境を徹底的に全世帯へ整備し、IT環境を前提とした施策を中核としていくべきである。
- 市民に対するきめ細やかな広報はありがたい。今後もSNSを積極的に活用してもらいたい。
- 新しい市長になり活気が出てきた。若者の潜在的ニーズを把握することが重要であるため、SNSを積極的に活用してほしい。
- 市ホームページは用語が難しく、解釈の仕方によって誤解してしまうこともある。市民に分かりやすく情報発信してほしい。
- イベントの有無の周知をしてほしい。除夜の鐘付きがなくなったことを知らずに、当日現地で知った人が多かった。
- 自分の知りたいところが市ホームページのどの分野に該当するか分からない、知りたい情報が探せないのは困る。
- 行田でもFMラジオ放送を流して行田の魅力を伝える。市民は行田テレビを無料で視聴できるようにする。
- まちづくりのために最も重要となる予算の配分や確保について、リーダーとして今後も力を発揮していただきたい。
- 非課税世帯ばかりに給付金が支給されていることに納得ができない。物価高の中で苦しい状況はみな同じであるので平等に支援してほしい。
- ひとり親や低所得世帯ばかりに現金を支給するのではなく、子どもを持つ家庭への負担軽減をしたらどうか。若い単身者が働きがいの持てる、又は子どもたちが夢を持って成長することができる街を目指してほしい。
- 老人ホームに入居待ちとなっている老々介護の夫婦が沢山いる。財源は市に長く税金を納めてきたこうした方々のためにも充てていただきたい。
- 市民の声を十分に聞き、取捨選択の上で貴重な財源の使い道を決めてもらいたい。市長を始め、職員のみなさまにこれからの市政運営を期待する。
- 防犯補助金、給食費完全無償化、子どものインフルエンザ予防接種助成金増額などの支援をもう少し充実させてほしい。

(11) 市政全般

- 市民が生き生きと行田が好きになる取組みを推進してほしい。
- 新しい市長になって、行田がよい方向に動き出しているのを感じる。移住定住はどこでも推進しているので、関係人口を増やして行けたらよいと思う。
- 今の市長になり、これまでとは違った取組みをしていて今後が楽しみである。
- 税金を納めてくれる世帯(子育て世帯)を増やすために、雇用と教育の施策を充実させてほしい。
- 今の市長に変わってからの市の発展に期待している。
- 行田で生まれ育った子ども達が大人になっても行田で仕事ができ行田に住み続けたいと思える街になってほしい。
- 行田はとても大好きな町だ。緑も歴史もあって、子育てには素晴らしい町だと感じている。
- 水城公園周りの児童館、SLのお色直しなど未就学児にとっても環境がとてもよくなったと思う。
- 行田に愛着と誇りを持てる市民が増えたらうれしい。
- 若者が住みたい魅力あるまちづくりをしてほしい。
- 行田の自然と歴史を生かして市外から人が訪問してくるまちにできると良い。
- 若い人や子どもたちが安心して生活できるまちをつくるために、子育て世代に手厚い支援をしてあげてほしい。
- 子育て支援が充実したまち(人が移住したいまち)、福祉が充実したまち(老後が楽しいまち)になってほしい。
- 公共交通機関、買い物の利便性、日々の暮らしに直結する課題に取り組んでいただき、高齢者、障害者ともに暮らしやすいまちづくりをお願いしたい。
- 今ある自然、資源や子どもたちを大事にしてほしい。現役世代の減税、子どもへの教育を本当の意味で充実させることで経済が循環すると思う。
- 子どもだけでなく高齢者も障害者も、その他、すべての人が暮らしやすいまちになってほしい。若い市長に期待している。
- 多世代で未来のこうあってほしい行田の将来像を語り合いたい。
- 今一番大事なのは人口減少に歯止めをかけることであり、そのために市内に新たな魅力を創出する必要があると思う。
- 「住民の声」ばかりを頼りにせず、市全体を見て住みやすく公平な環境作りをしてほしい。
- 観光客よりも今いる住民の生活に力を入れてほしい。
- 効率的な自治のためには様々な分野での広域連合や更なる市町村合併はやむを得ないと考える。
- まちづくりの具体的な施策は何か、歴史や自然、産業との結びつきを大切に今後の展開を期待している。それに市民がどのように参画できるかなど提示をしてもらいたい。

- 市民の意見を取り入れるアンケートはよい取組みであると思うが、それをどう生かし改善できたかが大切であると思う。
- 過疎地域の活性化を進めてほしい。
- この基本構想の策定に際しては、市民の声をきちんと反映できるスケジュールで実施してほしい。
- このようなアンケートや広報活動により、年齢、性別などを問わずみんなで参加しようという思いや関心が高まると思う。市民がそれぞれ様々な形式で参加できるまちづくりになっていくことを願っている。
- アンケート結果が楽しみである。活用してまちづくりに活かしてもらいたい。

※ 自由意見の記述はできる限り原文のまま記載していますが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正しています。

ご協力ありがとうございました

新たな基本構想策定に当たってのWEBアンケート調査報告書
令和6年3月

行田市総合政策部企画政策課

〒361-8601

埼玉県行田市本丸2番5号

電話 048-556-1111(代表)

メール kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp